

平成 2 4 年 度 第 2 学 年 家 庭 科 シ ラ バ ス

月	章・単元	学 習 内 容	時間	達 成 目 標	主な評価方法	観点	観点	観点	観点
						①	②	③	④
4	わたしたちの生活と住まい	① 住まいのはたらき	2	家族の生活と住み方とのかかわりがわかる。	学習ノート	○			○
5		② 家族と住まい				○			○
5		① 健康で心地よく住むために	6	家庭内の事故の種類と原因を知る。より住みやすい住まいにするための方法を考えることができる。	学習ノート	○			○
		② 安全に住むには				○		○	
		③ より良い生活と住まい				○	○	○	
6	わたしたちの衣生活	① 衣服のはたらき	6	衣生活について基礎的な学習により、衣服の選択や購入の自立、手入れや補修の自立を目指す。	学習ノート	○			○
		② 既製服の選び方				○		○	
7		③ 既製服の表示				○	○		○
		④ 衣服の手入れ							
9	作品の製作	⑤ 衣服の補修	1 4	裁縫道具やミシン、アイロンの扱い方を知り、生活に生かせるようになる。	作品制作 忘れ物 ワークシート	○	○	○	○
10									
11									
12									
1	わたしたちの消費生活と環境	① 家族の消費生活	7	生活に必要な物資、サービスの選択、購入、活用がわかる。 消費者の基本的な権利がわかる。 環境や資源に配慮した生活の工夫を考えることができる。	学習ノート ロールプレイング 学習ノート	○			○
2		② 消費者の権利と責任				○		○	
3		③ 販売方法と支払方法				○	○	○	
		④ 適切な選択と購入				○	○	○	
		⑤ 消費行動				○	○	○	
合計時数		3 5							

観点①生活や家庭科への関心・意欲・態度
観点③生活の技能

観点②生活を工夫して創造する能力
観点④生活や家庭科についての知識・理解

第 2 学 年 家 庭 科 の 評 価 規 準

- 1 関心・意欲・態度
- 家族の生活の場としての住居の機能について関心を持っている。
- 衛生的な室内の整備に関心を持っている。
- 室内の安全に関心を持ち、安全な住まい方を心がけようとしている。
- 衣服と社会生活との関わりを持ち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。
- 日常着の活用に関心を持ち、適切に選択しようとしている。
- 日常着の手入れや補修について、関心を持って学習活動に取り組んでいる。
- 自分の家庭生活や消費のあり。方についてふり返し、身近な販売方法の特徴や利点と問題点に関心を持っている。
- 情報を収集・整理し、物資・サービスを適切に選択、購入、活用しようとしている。
- 自分の生活と環境とのかかわりに関心を持っている
- 2 生活を工夫し創造する力
- 安全で快適な室内環境の整え方について考え、工夫している。
- 安全で快適な室内環境の整備について実践できる。
- 目的に応じた着用や個性を生かす着用について考え、工夫している。
- 日常着の計画的な活用について考え、工夫している。
- 消費生活の問題点を見付け、収集・整理した情報を活用して消費生活をより良くする方法について考え、工夫している。
- 物資の選択・購入・活用・廃棄について点検し、環境に配慮した消費生活を考え、工夫している。
- 3 生活の技能
- 安全で快適な室内環境の整備について実践できる。
- 既製服の表示や縫製などについて調べ適切に選択できる。
- 補修の目的と適した方法で、衣服を補修することができる。
- 具体的な物資・サービスの事例について情報を収集・整理し適切な選択、購入および活用ができる。
- 4 生活の家庭についての知識・理解
- 住居の基本的な機能について理解している。
- 室内環境を整えることの必要性に気づき、安全で快適な室内環境の整備に関する具体的な方法を理解している。
- 衣服の社会生活上の機能について理解している。
- 既製服の表示と選択に当たっての留意事項について理解している。
- 補修の目的と布地に適した方法がわかる。
- 中学生にかかわりの深い販売方法の利点と問題点について理解している。
- 消費者の基本的な権利と消費者保護基本法の趣旨を理解している。
- 物資の選択・購入・活用・廃棄に関する基礎的な知識を身に付けている。

